

教室掲示中の豆ま き用の鬼のお面。 実習生が紙皿と裁 縫用の綿で作成し ました。

あじけん通信

2023 FEBRUARY VOL.182

企画・編集 澁谷 健司/栗又 由利子

2月に入り暦の上では春となりましたが、あじけん周辺はまだまだ真冬の厳しい寒さが続いています。いつも元気な実習生達も、登下校時には背中を丸めて歩いています。こんな時こそ元気を出して、大きな声で挨拶ができるよう通学路での立哨指導時には大きな声で実習生達に声を掛けています。先月開かれた講師研修会でも、新型コロナウイルスが授業に与えた影響として、「実習生の発話や、挨拶の声がコロナ前に比べて小さくなった」との意見が出ました。教室ではまだマスク着用などの感染対策が取られていますが、マスク着用だからこそ、笑顔で元気に挨拶することの大切さが高まってきているとの思いで、積極的な声掛けを続けていきたいと思っています。

あじけんスコープ Vol.118 ~新年の講師全体研修会レポート ~

先月19日(木)新年第1回目の講師研修会が行われました。 研修では、今年の指導目標を「**円満・円滑に意思疎通が図れる 日本語力**」とし、コロナ禍の中来日してくる実習生の日本語力 低下や、昨年1年間のの日本語指導の成果を踏まえ、以下の3 点を重点指導目標に設定しました。

- 1 適切な音量で発話が出来る日本語力
- 2 時と場合に応じた挨拶が出来る日本語力
- 3 指示・問い掛けに対し返事・聞き返しが出来る日本語力



日常語彙の指導法について話し合う講師陣

いずれも基本中の基本と言える項目ですが、着実な定着を図るには、指導者・学習者双方の継続した努力が必要な項目と言えます。今年1年、基本に立ち返り、上記3点の目標達成に根気強く取り組んでいきたいと思います。「日常生活語彙の定着」、「自然な速度の日本語に対応できる聴解力の定着」等、従来の日本語指導達成目標にも取り組んで参ります。1ヶ月程度という限られた講習期間ですが、実習生の皆さんが実習実施機関において、円満・円滑に技能実習に取り組めるように、日本語講師一同、全力投球で指導に取り組んでいきたいと思います。

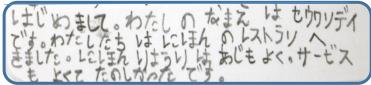
今月の実習生

今月は当校で女性では初めての受入となるスリランカからの実習生、GALLE PALLIYAGURUGE SATHIJA SEWWANDI PALLIYAGURU (セウワソディ) さんと、GANEGAMA KANKANAMAGE SHEHARA SHIWANTHI (シェハラ) さんを紹介します。2 人に取材を依頼したところ「あしたは、スリランカのカレーのお弁当をもってきます!」と笑顔で応じてくれました。



セウワソディさん

シェハラさん



はいめまして。 わたし は ジェハラ です。 きはう がっこんは すごい です。 がこうで きひしゅ きそく が たくさんあります。 にこほん に きて べんきょして くたざい。



▶・ケレット ホディ

(人参のカレー)

・マール アブル チャル (魚のドライカレー)

・バトゥ モージュ

(イワシと茄子の唐辛子炒め)

あじけん流日本語授業

~季節の行事「豆まき」(介護クラス)~

今月のあじけん流日本語授業は、季節の行事「豆まき」を扱った活動(介護クラス編)をご紹介いたします。 介護の現場では、利用者と一緒に、季節を感じる歌を歌ったり、食事を楽しんだりすることが予想されます。 「季節」があまりない国から来る実習生もいるため、介護クラスでは「季節」の授業にも重点を置いています。 季節ごとの行事や食事、歌などの内容を知るだけでなく、季節を感じる掲示物を作ることにもチャレンジしています。今回は、実際に、鬼のお面を制作しました。

まず、「季節」「節分」「鬼」「恵方巻」などの言葉を学習します。特に「鬼」については、日本の鬼のイメージや、鬼は何をするのか、鬼という言葉がどのように使われるか学習します(「鬼嫁」「悪いことをすると鬼が来るぞ」「鬼のような顔」など)(写真①)。そのあと、実習生の母国の「鬼」のようなものについて実習生自身に、画像やイラスト等を使って説明をしてもらいます(写真②)。次に、日本の「豆まき」について説明します。いつ行うか、「鬼は外、福は内」と唱えること、それはどんな意味かなどを説明します。時間があれば、それぞれの国で似たような行事があるか聞きます。ちなみに、この取材したクラスはベトナム人実習生でしたが、2月ではなく、8月ごろ(お盆のころ)、鬼(悪いもの)に対して、米と塩を投げるそうです。

そのあと、実習生は鬼のお面を制作しました(写真③、④、⑤)。お面を付けて、鬼役をしてみたり、教室に 掲示をしたりました。

1ヶ月の講習期間内に1年分の行事を網羅するのは大変ですが、実習生が実習先で少しでも自信を持って実習ができるよう、これからも実習先での様子をイメージしながら、実習生の後押しができる授業を目指していきたいと思います。





写真1:日本の鬼の説明



写真 2: ベトナムの鬼 Quỷ đói (クイ・ドイ)



写真3:鬼のお面を作成中



写真4:できました!



写真5:青鬼に変身です!

